

淡路島産ハラゲビロウドコガネについて

付 兵庫県産 *Nipponoserica* 属コガネムシの分布

(兵庫県甲虫相資料・87)

高 橋 寿 郎

従来カバイロビロウドコガネの名で知られていたグループ(*Nipponoserica*属)を1976年故野村 鎮氏は再検討されて日本産を7種に別けられた。

淡路島からのこのグループの記録は堀田 久氏が本誌に発表された2例がある(1974, 1978)。共に*Nipponoserica*(*Serica*) *similis lewis* カバイロビロウドコガネとして記録された。筆者はこの類の兵庫県での分布を知りたくて堀田氏に御願ひしてその内の1♂標本を送って頂き見せて頂くことが出来た。♂交尾器を摘出調べた所ハラゲビロウドコガネと同定すべきであるとわかった。実は野村氏の論文で真の*N. similis*は四国、九州にのみ分布する種となっているので淡路島の場合或は真の*N. similis*がいるのではないかと期待をしていたのであるが残念ながら違っていた。併しこのグループ個体数が余りとれないのでその分布もよくわかっておらず今後二期する所が大きいのでこの際淡路島をもふくめた兵庫県産のグループの分布を眺めて見ると同時に皆様方の注意を喚起すべく本報を発表させて頂くことにした。

本文を草するに当り貴重な標本を御恵送筆者の調査に御援助下さいました堀田 久氏の御好意に厚く御礼申しあげる。

ハラゲビロウドコガネ *Nipponoserica pubiventris* Nomura は初めに記した様に野村氏が1976年命名されたものである(*Toho-Gakuho* №26 pp.189~190, pl. VII, fig. 40, 41)。分布は本州で原記載に使用された *paratype*の中には宝塚産1♂が含まれている(26-V-1974, M. Goto leg.)。

淡路島産のものが*N. similis* (*Lewis*)ではないかと期待していたのであるが残念ながら本種であった。私が堀田氏の御厚意で調べる事の出来た標本は登日邦明氏採集、津名郡大町産1♂(20-V-1966)の大変きれいな標本だった。堀田氏は更に洲本市安乎町から*N. similis*で記録しておられるがこちらの方の標本は見せて頂いていないので何んとも

云えない。もう少し標本を数多く集めて見ないといけないが *N. similis* の分布の可能性はある様に思はれる。

さてそれでは兵庫県の他の地での *Nipponoserica* 属 (属の創設は Nomura, S. Toho-Gakuho, No 23: 139, 1973) はどの種がいるのかということであるが何分こちらの方も標本が案外手許になく一応所有している標本全部の♂交尾器を摘出して調べて見た所その大部分がこのハラゲピロウドコガネであった。たゞ水上郡神楽村で山本義丸氏が採集され御恵与頂いた2♂の標本(30-V-1953)の交尾器は完全にワタリピロウドコガネ *Nipponoserica peregrina* (Chapin) のものであった。従って現在兵庫県には *Nipponoserica* の属は2種を分布している事が確実に変わったわけである。

この *Nipponoserica* 属の分類は可成り困難で野村氏は♂交尾器の形は固定し、中間型が見られないこと、外部形態も僅かに差異が認められることによって7種に別けておられるのであるが♂交尾器の形状は必ずしも固定とは云いがたい様に思われ外部形態でもそれ程顕著な差異が認められるのかどうか可成り数多くの標本を検して見ないとよくわからない様に思われる。従って♂交尾器で同定する以外余り決め手がないグループである。真のカバイロピロウドコガネの標本を所有していないのでハラゲピロウドコガネとの区別は石田正明氏の報文(月刊むし, No 108: 20-21, 1980)を見て頂きたい。

次に淡路島を含めた兵庫県産2種の産地を掲げておく。

○ *Nipponoserica peregrina* (Chapin)

ワタリピロウドコガネ

産地: 水上郡神楽村 (2♂, 30-V-1953, Y. Yamamoto leg.).

○ *Nipponoserica pubiventris* Nomura

ハラゲピロウドコガネ

産地: 津名郡大町 (1♂, 20-V-1966, K. Tobi leg.). 宝塚市内〔野村, 1976〕. 神戸市烏原(1♀, 5-VI-1939, 1♂, 24-V-1953, 1♀, 5-V-1968, 1♀, 11-V-1975, 1♀, 27-V-1979, 1♂, 24-V-1980, 1♂, 27-V-1980, 1♀, 10-VI-1980) 藍那(1♂, 10-VI-1978), 山の街(1♂, 13-VI-1954, 1♀, 5-V-1955), 妙法寺(1♀, 23-VI-1979). 明石市明石公園(1♂, 1♀, 12-VI-1976). 宍粟郡波賀町音水(2♂, 11-VI-1972).

ただ兵庫県下から *Nipponoserica* (*Serica*) *similis* Lewis カバイロピロウドコガネとして記録されたのが次の様にある。これらが真のカバイロピロウド

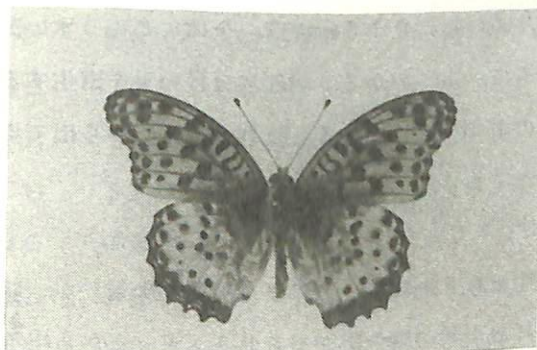
コガネかまたはハラゲピロウドコガネ、ワタリピロウドコガネなのか標本を検査することが出来ないのによくわからない。川西市大和、笹部〔仲田, 1978〕, Hiogo〔Br-enske, 1897〕, 神戸市磨那山〔増田, 橋本, 1941〕, 出石郡伊東町佐々木〔高橋, 1963〕, 養父郡氷の山〔高橋, 1959, 1975〕。

以上現在の知見では兵庫県にはハラゲピロウドコガネが広く分布している種の様でありワタリピロウドコガネが産地は少ないながらもいると考えられる。また山岳地帯には違った種のいる可能性もあり淡路島には真のカバイロピロウドコガネを産する望みもあると考えている。

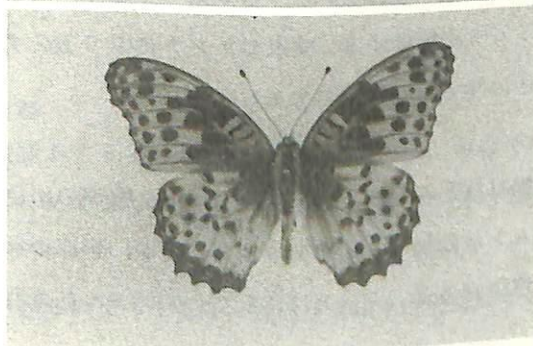
ツマグロヒョウモンの異常型

1980年9月13日に、洲本市下加茂で、ツマグロヒョウモン (*Argyreus hyperbius* Linnaeus) の蛹を採集し飼育したところ、9月16日に羽化し、異常の型の雄の個体であったので報告しておく。

又、後日同所において採集した、幼虫、蛹を飼育したが、異常型のような個体は見られなかった。



(上) 正常型♂表面



(下) 異常型♂表面

(林 俊雅)